

日本で見れるがイギリスで見れない事象 その理由をさぐる！

2015年2月17日
新現役ネット
第62回(通算130回)
教育を考える会
荒川 英敏

*スライドの写真の出所はインターネット

1

日本で見れるがイギリスで見れない事象①

技術とシステム

- ・新幹線網
- ・鉄道の相互乗り入れと時刻の正確さ
- ・スイカやパスモの利用範囲の拡大

社会

- ・医療機関の自由選択
- ・賃貸住宅の敷金・礼金

環境、景観、インフラ

- ・無秩序な野立て看板と市街地の看板
- ・電柱
- ・車で走行しながら発する大音量
- ・歩道のない道路

娯楽

- ・パチンコ、競輪、モーターボートレース
- ・クラブ、キャバクラ、バー、スナック、カラオケ

2

日本で見れるがイギリスで見れない事象②

消費者ニーズの実現

- ・自動販売機
- ・24時間オープンコンビニ
- ・カプセルホテル
- ・豪華な設備のゴルフ場
- ・ゴルフクラブの宅配便輸送
- ・ホールインワン保険
- ・温水便座
- ・活魚輸送

その他

- ・明る過ぎる住宅、オフィス、商業施設の照明
- ・銭湯
- ・駅やデパート等の切れ目のないアナウンス
- ・横断歩道脇に立っていても止まらない車両

3

世界最高水準の新幹線網

- ・スピード、安全性、正確性、運行頻度と世界最高水準。東北新幹線の320km/hは営業運転では世界最速！日本の誇りです。
- ・世界標準サイズより大きいワイドボディ。
- ・高さ4.5m×幅3.4m×長さ25m。
- ・欧州の高速鉄道は日本の在来線と同じ高さ3.9m×幅2.9m×長さ20mの小ぶりな車体。
- ・線路幅は世界標準1,435m（安定した高速運転に最適）。日本の在来線は1,067m。
- ・新幹線は電車方式（加速、停止と速度調整が容易にできる）。他国は機関車方式。
- ・ビジネス、観光への貢献は計り知れない。

写真上 のぞみ N700系

写真下 ユーロスター（ロンボン〜パリ）



4

イギリスでの新幹線網普及の遅れの理由

- * 世界最初に鉄道が普及したため、古い設備や車両の近代化が遅れた。
- * 70年代に民営化が始まり、在来線の設備強化が進み高速運転網(200km/h)が発達して来た。
- * 狭い国土での新幹線網(300km/h)の必要性のコンセンサスが得られなかった。
- * 15年前にロンドン〜パリ間のユーロスター(300km/h)が開通し利便性の認識が高まった。
- * 5年前、日立製新幹線仕様の通勤型電(225km/h)の導入で高速鉄道の信頼性が高まり、現行在来線特急列車87両の入替えに日立が再指名され現地生産を見据え工場建設が進捗している。
- * 2036年ロンドン〜スコットランド間の全線開通を目指した新幹線(400km/h走行)工事(HS2プロジェクト)の第一期工事のロンドン〜バーミンガム間が本年より始まり、2026年の部分開通をみこんでいる。



写真上 イギリスの現行の特急列車(200km/h)

写真下 日立製の新型特急列車(225km/h)

5

鉄道の相互乗り入れ

- ・ 異なった路線で乗り換えなしで利便性の向上。
- ・ スイカやバスモ等の電子決済システムの普及による運賃清算の簡素化。
- ・ 同一車両規格の為、相互乗り入れが可能。
- ・ イギリスでは鉄道と地下鉄の車両サイズや電気システムが異なるで相互乗り入れができない。



東急東横線+半蔵門線+東武日光線



イギリスの在来線通勤列車



ロンドンの地下鉄

6

スイカ、パスモの利用範囲の拡大

- 鉄道運賃以外にもコンビニやキオスクでの利用拡大。
- **IT**システムによる料金清算システム普及。
- スマホにスイカ機能を持たせ利用範囲のさらなる拡大が見込める。
- イギリスは鉄道、地下鉄、バスのみに限定の**IC**カード(オイスター)が普及しているがショッピングへの利用はできてない。

7

医療機関の自由選択

- 日本の医療制度は患者が医療機関を自分で選択できる。
- 選択幅も大学病院、公立病院、私立病院、医院、クリニック、専門病院と多岐に亘っている。
- イギリスは、ホームドクター制度で総合医と専門医の棲み分けを行っている。

8

賃貸住宅の敷金、礼金制度

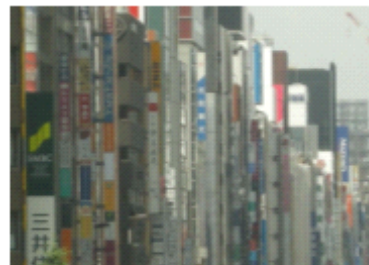
- 日本では最近、敷金、礼金制度は減少傾向にあるが、まだ根強く残っている。
- 背景には、戦後の混乱時期の住宅不足に貸す側が強く、借りる側が弱い構図が未だに続いている。
- イギリスでは貸す側と借り側は契約書上は賃料を払うことで対等となっている。



9

野立て看板と氾濫する市街地看板

- 日本は形や大きさ、色使いがバラバラの野立て看板や市街地に看板が氾濫している。
- 規制として野外広告物法があるがまったく機能しておらず、無秩序状態で、景観を著しく損ねている。
- イギリスは野立て看板は禁止、市街地看板は出す場所が商業地のみで限定され、その形、大きさ色使いに規制がある。
- これにより、景観と言う社会資本を維持している。



10

電柱の林立する日本

- 地震や台風をはじめとする自然災害の多い日本に何故電柱が林立するのか？
- 電柱の地中化によって、災害による被害は最小に抑えることが出来ることは専門家の中では常識となっている。
- 電柱の地中化は**100年**の大計を持って都市計画と一体で進めないと美しい日本が台無しである。



11

歩道のない道路

- 日本は幹線道路以外は歩道がなく電柱が立っているため狭い道路をさらに狭くしている。
- 特に、人通りの多い道路や通学路で歩道がないのは危険きわまりない。
- イギリスは歩道と街路灯がセットで整備されているので、歩行者は安全である。



12

車で走行しながら発する大音量

- 言論の自由であるとは言え車で走行中に大音量を発する行為が許される理由がなく騒音防止法があるにも係わらず野放し状態である。
- イギリスでは騒音防止法で大音量を発することは規制されている。



13

パチンコ、競馬、競輪、競艇

- 日本は、世界最大のギャンブル大国で市場は約**30兆円**(GDP比**6%**)と言われている。
内訳は、パチンコ**20兆円**、競馬**3.3兆円**、競艇**9000億円**、競輪**6800億円**、その他。
- ギャンブル都市マカオが**2.7兆円**ラスベガスは**5300億円**。
- パチンコの市場規模は**20兆円**で、最大の自動車産業の**1/3**、電機産業の**1/2**もある巨大市場である。
- イギリスのギャンブル市場は**1.2兆円**(GDP比**0.4%**)、



14

クラブ、キャバクラ、スナック、 居酒屋、カラオケ

- クラブ、キャバクラ市場は**1兆円**、居酒屋は**1兆円**、カラオケは**4000億円**市場と
言われている。
- イギリスはパブが**1970年**
代には5万軒あったが、健
康志向の高まりで禁酒、禁
煙ムードが高まり、3年前
からのパブでの禁煙規制で
パブ閉店が相次ぎ、今で
は3万軒まで減っている。

資料出所: EAT+RIC研究所



15

自動販売機の普及

自販機の利点

- 無人販売(販売の人件費が掛か
らない)
- 消費者目線では利便性が向上し
缶コーヒーやミネラルウォーター
に代表されるソフトドリンクが
24時間購入が出来る。
- スナック菓子、アイスクリーム、タ
バコ、アルコール飲料に拡大さ
れている。

イギリスで普及しない理由

- **24時間稼働の必要性がない。**
- **エネルギーの無駄使い。**



16

24時間オープンのコビニ

- ・ 店舗数は**54000**店、歯医者数は？
- ・ **24時間**オープンなので利便性が極めて高い。
- ・ 現金はもとより**ICカード**やクレジットカードも使えるので便利である。
- ・ 品揃えが豊富でほとんどの物を買える。
- ・ コピー、**FAX**機が簡単に使える。
- ・ 銀行の**ATM**があるので便利。
- ・ 一部店舗で住民票の発行も可能に。



17

イギリスでコンビニが普及しない理由

- ・ **24時間**オープンの必要性が感じられない。
- ・ 限られた利用者のわがままに答えるため深夜勤務の店員は労働が過酷となり不公平である。
- ・ エネルギーの無駄使い。
- ・ 店舗は朝**7時**から**18時**までオープン十分である。
- ・ 警察、消防、救急に係わる者は社会が必要としている公僕で**24時間**体制は当然だが……。



イギリスの食料品店舗

18

カプセルホテル

- 低価格で清潔で素晴らしいアイデア！
- 外国人旅行者にも評判が良い様だがこれが日本文化と思われるのは本意でないですね。
- イギリスでは潜水艦に乗船するならあきらめるが、旅行では泊まり手はないと思う。



19

豪華な設備の日本のゴルフ場

- ゴルフはシンプルで質素なスポーツのはずが、日本に到来して豪華で金の掛かるスポーツに変わった。
- 過剰設備と過剰サービスは長続きしない。過去に失敗した事例は枚挙に暇がない。
- イギリスのゴルフ場はメンバーが運営するカントリークラブなので料金も安い。公営のゴルフ場も沢山あり、クラブハウスは無駄のない質素な建物で、それぞれ**100年以上**の永い歴史を刻んでいる。



日本の某ゴルフ場の豪華なクラブハウス



ゴルフの聖地セント・アンドリュスのクラブハウス

20

ゴルフクラブの宅配便や ホールインワン保険

- ゴルフクラブの宅配便が都市部ではやっている。
- ゴルフでホールインワンをすると一緒に回ったプレイヤーやゴルフ関係者に贈り物をする習慣がある。当人は多額の出費が余儀なくされ人によっては数十万円の出費が掛かる。この為、ホールインワン保険があると聞いている。
- イギリスでは、いずれも存在しない。ゴルフクラブはプレイヤーが車で運び、ホールインワンをしたプレイヤーはクラブハウスで関係者にビールを奢る習慣がある。



21

温水便座(ウォッシュレット)

- 日本は温水便座(ウォッシュレット)の住宅での普及率は73%と高く、今ではホテル、駅のトイレや公共施設でも使用されている。
- 快適な使用感で、日本人には必須の設備である。
- イギリスでは、その存在も知られていないが、来日した旅行者の体験談聞か普及は皆無である。
- イギリスの場合、一般的に浴室にトイレがある。しかし、法律で浴室にコンセント(240V)は付けられないので、実際に取り付けが出来ない。



22

活魚輸送

- 日本は食文化の大切な食材である新鮮な魚の需要は旺盛で、活魚輸送のノウハウが確立されており寿司をはじめとする魚の食文化を支えている。
- イギリスでは魚は火を通して食する習慣の為、魚は牛肉や豚肉、鶏肉と同列の輸送で十分と考えられている。イギリスで新鮮な魚を手に入れるのは至難の業である。



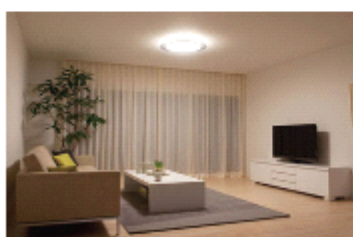
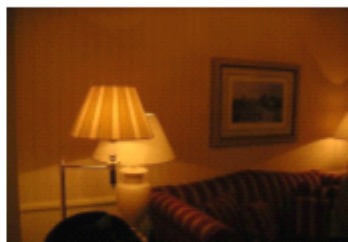
23

日本の明る過ぎる住宅の照明

- 日本はこれまで住宅照明はほとんどが昼光色の蛍光灯照明なので明る過ぎる。このことは、夜になっても心身が昼間の活動モードなので、人間本来の夜の癒しモードに入れない。
- この状態が長期にわたると心身の疲労回復に支障を来し様々な病気の発症が心配される。
- イギリスに限らずヨーロッパでは住宅は電球色の光源を使って、電気スタンドと間接照明の組合わせで癒しの空間を演出している。
- オフィスは間接照明を基本として光源が直接に目に入らない様に照明が配置されている。

24

明る過ぎる日本の住宅照明



日本の明るい昼光色の室内照明

イギリスの電球色の室内照明

25

銭湯

- 年々銭湯の数は減っているが、家庭に内湯がない頃の古き良き時代の名残り。
- イギリスでは他人の前で裸になる習慣がないので、銭湯の普及はまずないでしょう。



26

駅やデパートでの切れ目のないアナウンス

- 駅舎やプラットフォーム、車内やデパートの切れ目のない過剰なアナウンス、人々はほとんど聞き流していると思われる。
- イギリスは、駅もデパートも車内も本当に必要な事柄のアナウンスしかない。



27

横断歩道脇に立っていても 止まってくれない車両

- 日本の道路交通法では信号の無い横断歩道脇に立っている歩行者を見つけたら車両は停止しなければならないが、まず止まらない。歩行者最優先がなされていない。
- イギリスでは必ず停車し歩行者が横断歩道を渡りきるのを見届け発進する。



信号機のない歩道

28

おわりに

今日お話した様々な事象の中には日本独特の考えの中で、醸成され海外では受け入れ難いものや、海外から諸手を挙げて受け入れられそうなものもあります。特に新幹線技術は正に日本の物作りの集大成で世界に誇れる事象でもあります。

一方で無秩序な野立て看板や市街地の看板、走行しながら発する大音量は自治体の条例で解決できるものであり、電柱や歩道のない道路は国が**100年**の大計を持って果敢に取り組まない限り、**100年**経っても子孫に見苦しい景観を残すこととなります。本質が見えて実行力のある為政者が現れることを期待します。

ご清聴ありがとうございました。

荒川 英敏